

診断書（肢体不自由）

この診断書は、修学上・生活上の合理的配慮を考えるための資料です。

氏名			生年月日 西暦 (S・H) 年 月 日
住所	〒		
診断名	英語表記も記載してください。		
障害の状態	身体障害者手帳	無 有 (級、取得：西暦 S・H・R) 年 月 日	
	区分 日本学生支援機構による	上肢機能障害 ・ 下肢機能障害 ・ 上下肢体機能障害 その他 ()	
	障害の状態について、参考となる経過・現症・処方薬・補装具等を具体的に記入してください。 合理的配慮に関する困難と必要な配慮について、別紙に記載してください。 脳性まひの場合は生理学的病型等、また脊椎損傷の場合は損傷高位等も記入してください。 疾病・外傷発生年月：西暦 (S・H・R) 年 月		
検査結果等	検査名称 検査結果を添付してください（実施日は、原則として申請時の3年以内）。 ・ (実施日：西暦 (R) 年 月 日) ・ (実施日：西暦 (R) 年 月 日) ・ (実施日：西暦 (R) 年 月 日)		
診断者	上記の通り診断する。 西暦 (R) 年 月 日 医師名 (印) (診療科名) 医療機関名・所在地・電話番号		

別紙 修学上・生活上の困難とそれに対する配慮

学生の状況を踏まえ、修学上・生活上の困難とそれに対して必要な配慮項目に○(特に必要な配慮項目は◎)を付けてください。

【記入例】

修学上・生活上の困難 (症状を含む)		場面	必要な配慮
	日常生活動作(食事、排泄等)が困難である	修学	◎ 座席の確保: 前方・出入り口付近等
○	移動に時間を要する	修学	移動しやすい教室の設定
○	筆記に時間を要する	修学	○ 遅刻・欠席回の学修のレポート課題等での代替

修学上・生活上の困難 (症状を含む)		場面	必要な配慮
	日常生活動作(食事、排泄等)が困難である	修学	座席の確保: 前方・出入り口付近等
	移動に時間を要する	修学	移動しやすい教室の設定
	筆記に時間を要する	修学	授業内容の提供: 授業資料・重要情報の送付等
	疲れやすい	修学	授業の録音・録画の許可
	体調不良等により遅刻・欠席する	修学	板書の写真撮影の許可
	通院により遅刻・欠席する	修学	遅刻・欠席回の学修のレポート課題等での代替
		修学	途中入退室の許可
		修学	課題提出期限の延長
		修学	試験時間の延長
		修学	解答方法の変更: 点字・記述・チェック・PC入力・口頭・代筆等
		修学	欠席回の発表・試験の別日程による実施やレポート課題等での代替
		生活	休息場所の確保
		生活	設備の改善・整備: ドア・固定机・スロープ・段差解消等
		生活	自家用車による通学の許可
		生活	災害時個別対応書の作成: 避難計画等

上記以外に困難や必要な配慮があれば、具体的に記載してください。

修学上・生活上の困難 (症状を含む)	必要な配慮